

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年10月1日（火）

### 2 確認箇所

- ・免震重要棟集中監視室
- ・5／6号機北側造成地（大型廃棄物保管庫建設予定地）

### 3 確認項目

- （1）2号機窒素封入設備の二重化工事に伴う通気試験の状況
- （2）大型廃棄物保管庫建設工事の状況

### 4 確認結果の概要

- （1）2号機窒素封入設備の二重化工事に伴う通気試験の状況について

原子炉格納容器（PCV）内の不活性雰囲気を維持するために、窒素封入設備を用いて、1～3号機原子炉格納容器内に窒素を封入しているが、窒素封入設備の信頼性向上を目的として、1～3号機原子炉圧力容器封入配管の二重化等が実施されている。

本日から、2号機窒素封入設備の原子炉圧力容器（RPV）配管の二重化工事の通気試験が実施され、その通気試験の工程は、①窒素封入を既設のRPVラインからPCVラインへ切替、②配管を既設のRPVラインから新設のRPVラインへ切替、③窒素封入をPCVラインから新設のRPVラインに切替、であり、本日は①の作業状況を集中監視室で確認した。

- ・窒素封入ラインの切替作業は、現場の当直員と集中監視室の当直員の2班に分かれて実施されており、現場の状況と各プラントパラメータの状況を携帯電話でやりとりしながら実施していた。
- ・集中監視室の当直員は、現場の当直員が弁の開閉操作の度に、各プラントパラメータに異常がないことを確認していた。
- ・作業は特段のトラブルが発生することなく実施され、RPVラインの窒素封入流量が13 m<sup>3</sup>/h→0 m<sup>3</sup>/hに、PCVラインの窒素封入流量が0 m<sup>3</sup>/h→13 m<sup>3</sup>/hに変更された。

- （2）大型廃棄物保管庫建設工事の状況について

前回（8月2日）に引き続き、敷地北側の造成地において建設が進められていた大型廃棄物保管庫の建設工事の状況を確認した。

- ・現場確認時は建屋建設箇所の掘削及び2台の施工機による地盤改良作業が実施されていた。（写真1）

- ・ 前回確認した際に組立て前の施工機が設置されていた場所には、セメントのサイロが4基設置されていた。（写真2）
- ・ 地盤改良作業は、攪拌翼を土中に貫入させながらスラリー状のセメント固化材を注入して土と攪拌混合し地中に改良柱体を造成する工法（深層混合処理工法）で行っていた。（写真3）



（写真1-1）  
北側から撮影



（写真1-2）  
南西側から撮影



（写真1-3）  
写真1-2赤丸部分拡大  
複数の作業員が作業を行っていた



（写真2-1）  
前回撮影（8月2日撮影）  
南側から撮影



(写真2-2)  
今回撮影(10月1日撮影)  
南側から撮影



(写真2-3)  
写真2-2を西側から撮影



(写真3-1)



(写真3-2)  
写真3-1赤丸部分拡大  
配管が地中に敷設されている



(写真3-3)

セメントスラリーを注入する配管が杭打ち機まで敷設されている

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。